

Document 9.JANUARY.2012

猛追及ばず準Vも 見せた駅伝のまちの意地

第2回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会

取材協力/三股町



▲川添選手(5区)から中屋敷選手(6区)へのたすきリレー ▲たすきを渡す小園選手(10区)と受け取る吉園選手(11区) ▲先頭を懸命に追う新選手(3区) ▲1区で区間賞を獲得した平原選手

小林 こばやしびと Vol.18

大きな声援にこたえた選手たち この悔しさを覇権奪回の糧に



▲たすきを受け取り那須選手(5区)をねぎらう齊藤選手(6区)

昨年の歓喜から一年。前回の覇者小林市はA・B2チームで臨みました。もちろん狙うは連覇です。運命のスタート。沿道を埋め尽くす観客からの声援を受け、選手が飛び出します。「緊張したが、声援が力になった」とAチーム1区の平原選手。区間賞の力でたすきをつなぎます。しかし、それ以降は、覇権奪回に燃える宮崎市を追いかける苦しい展開。じりじりと差を広げられます。それでも7区で轟木選手が「気持ちだけは負けないように懸命に走った」と必死の走りです。区間賞。その後の選手も差を広げられまいと前を追います。

そして、たすきはアンカーの廣末選手へ。この時トップとは1分6秒差の3位。すぐ前を走る都城市を冷静に追い抜くと、さらにスピードを上げます。「連覇を意識し、必死に追いかけた」と廣末選手。しかし、猛追及ばず16秒差の2位でゴール。また、Bチームも市郡の部で10位と健闘しました。

原田監督は「選手は意地を見せた。今年見えた課題とこの悔しさを糧に今日から覇権奪回へスタートしたい」と振り返りました。

駅伝のまち小林の誇りを胸に力走した選手たち。覇権奪回へ彼らはもう走り出しています。



1月9日、新春の日向路を駆け抜ける第2回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会が行われました。県庁前をスタート、ゴールとする12区間39.6キロで争われ、昨年王者の小林市はAチームが2位、Bチームも10位と駅伝のまち小林市の誇りを胸にたすきをつなぎ健闘しました。

◀「逆転できなかったから」と手を合わせゴールする区間賞の廣末選手



▲レース後に行われた表彰式。選手は胸を張り、送られた拍手にこたえた。

◀10位でゴールテープを切った大西選手



◎選手紹介※敬称略 ▼監督：原田誠(小林中駅伝部監督)、安田昭一(小林市役所) ▼コーチ：横山美和(小林高校男子駅伝部監督)、古園謙二(小林Jrアスリート)、田中美津枝(西小林中)中武光一郎(小林小) ▼小学生男子：平原雅也(東方小6年)、横井光太郎(野尻小6年)、堀添翔太(須木小6年)、加藤勇人(三松小5年)、山口大智(小林小5年)、中村友紀(南小6年) ▼小学生女子：吉園菜(須木小6年)、古川舞(小林小6年)、奥野優芽(三松小6年)、中堂園和代(細野小6年)、古川玲奈(東方小6年)、宮尾珠江(細野小5年) ▼中学生：轟木亜間(小林中3年)、川添杏太(紙屋中2年)、岩崎敬信(小林中3年)、那須豊(小林中1年)、上別府希一(小林中2年)、松嶺安孝(紙屋中3年) ▼高校生：廣末香(小林高3年)、大西政徳(小林高2年)、新涼太(小林高1年)、福山恭平(小林高3年)、伊東優(小林高2年)、川内亮太(小林高1年) ▼一般：斉藤寛憲(小林市役所)、小園友大(国学院大1年)、中屋敷創也(都城高専)、松尾寛(えびの自衛隊)、織田正也(えびの自衛隊) ▼40歳以上：大山和彦(会社員) 山本正和(東方中教諭) 飯干正巳(えびの自衛隊) ▼50歳以上：下津佐善文(会社員)、橋満光一(会社員)、平野幹夫(自営業)